

原 安 第 4 0 7 号  
令和 5 年 11 月 10 日

唐津市長 峰 達郎 様

佐賀県知事 山口 祥義



原子力発電所の安全確保に関する協定書第 5 条に基づく連絡内容について  
(通知)

このことについて、原子力発電所の安全確保に関する協定書第 5 条（平常時における連絡）に基づき、以下のとおり九州電力株式会社から連絡を受けたので、平成 1 8 年 3 月 2 6 日付けで交換した「原子力発電所の安全確保に関する協定書に係る佐賀県と唐津市の確認書」に基づき、通知します。

1 協定書の覚書に基づく連絡について

〔佐賀県知事宛て 九州電力㈱代表取締役社長執行役員名  
2 0 2 3 年 1 0 月 2 5 日付け 立コミ本第 2 3 2 号〕・・・(別添 1)

2 玄海原子力発電所 3, 4 号機の基準地震動の変更に係る  
原子炉設置変更許可申請書の補正について

〔佐賀県知事宛て 九州電力㈱代表取締役社長執行役員名  
2 0 2 3 年 1 0 月 2 7 日付け 立コミ本第 2 3 8 号〕・・・(別添 2)

3 協定書の覚書に基づく連絡について

〔佐賀県知事宛て 九州電力㈱代表取締役社長執行役員名  
2 0 2 3 年 1 0 月 3 1 日付け 立コミ本第 2 4 8 号〕・・・(別添 3)

4 玄海原子力発電所 3 号機 第 1 7 回定期検査の実施について

〔佐賀県知事宛て 九州電力㈱代表取締役社長執行役員名  
2 0 2 3 年 1 1 月 2 日付け 立コミ本第 2 5 7 号〕・・・(別添 4)



立コミ本第232号  
2023年10月25日

佐 賀 県 知 事  
山 口 祥 義 様

九州電力株式会社  
代表取締役 池 辺 和  
社長執行役員

協定書の覚書に基づく連絡について

拝啓 時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条第5号に基づき、  
別添報告書のとおり連絡いたしますので御査収ください。

敬 具

報告書内容

1. 核燃料物質の受入状況

(その都度)

以 上

核燃料物質の受入状況

九州電力株式会社

核燃料物質の区分		低濃縮ウラン
受入工場又は事業所	名称	九州電力株式会社 玄海原子力発電所
	所在地	佐賀県東松浦郡玄海町大字今村
原子炉名		玄海原子力発電所 第3号炉
受入年月日		2023年10月17日(48体) (三菱) 2023年10月18日(36体) (三菱)
受入数量		84体(三菱:84体)
払出工場又は事業所	名称	三菱原子燃料株式会社
	所在地	茨城県那珂郡東海村大字舟石川622番地1
運搬者名		三菱原子燃料株式会社 (三菱原子燃料(株)製燃料 輸送統括)
化合物又は混合物の名称 及びその形状		二酸化ウラン 燃料集合体
受入の原因		原子炉で燃料として使用するため

(参考資料)

核燃料物質の受入について

2023年10月17日、18日に玄海原子力発電所へ受入れた新燃料に係わる供給当事国は下記のとおりです。

記

1. 原子炉名

玄海原子力発電所 第3号炉

2. 国際規制物資の供給当事国

オーストラリア・フランス・ユーラトム

カナダ・フランス・ユーラトム

フランス・ユーラトム

以上

別 添 2

立コミ本第238号

2023年10月27日

佐 賀 県 知 事

山 口 祥 義 様

九州電力株式会社  
代表取締役 池 辺 和  
社長執行役員

玄海原子力発電所3, 4号機の基準地震動の変更に係る

原子炉設置変更許可申請書の補正について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

かねてから当社事業につきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2021年8月23日付け立コミ本第158号にてご連絡しておりました、玄海原子力発電所3, 4号機の基準地震動の変更に係る原子炉設置変更許可申請書について、これまでの審査内容を反映し、別紙のとおり、本日、原子力規制委員会へ補正書を提出しました。

つきましては、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条第5号に基づき、ご連絡申し上げます。

今後とも、一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

主な補正内容

○ 基準地震動 (Ss-6) の見直し

標準応答スペクトルを考慮した地震動評価に用いる地下構造モデルを修正し、基準地震動 (Ss-6) を見直しました。

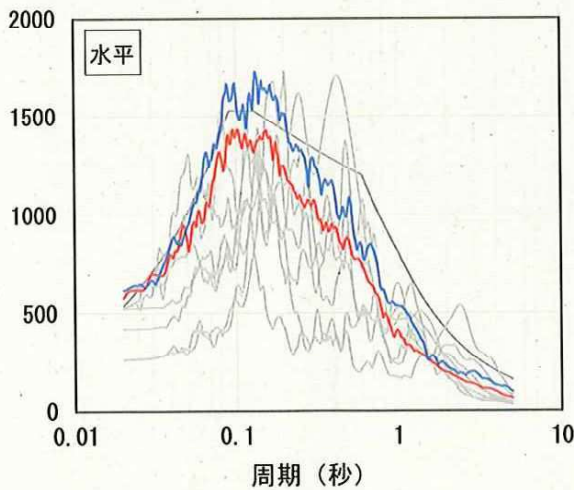
【地震動の最大加速度】

地震動		最大加速度(ガル)		
		水平方向	鉛直方向	
震源を特定して策定する地震動	基準地震動 Ss-1	540	360	
	基準地震動 Ss-2	268	172	
	基準地震動 Ss-3	524	372	
震源を特定せず策定する地震動	基準地震動 Ss-4 (留萌支庁南部地震)	620	320	
	基準地震動 Ss-5 (鳥取県西部地震)	531	485	
	〔基準地震動 Ss-6 標準応答スペクトル を用いた地震動〕	申請時	577	403
		今回補正	617	441

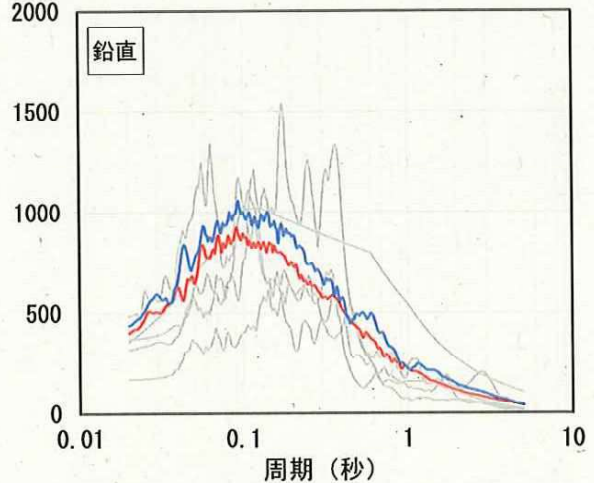
下線部：Ss-1～Ss-6 の最大値

【地震動の応答特性】

加速度 (ガル)



加速度 (ガル)



- : 基準地震動 Ss-1～5
- : Ss-6 (申請時)
- : Ss-6 (今回補正)

以上

立コミ本第248号

2023年10月31日

佐賀県知事

山口祥義様

九州電力株式会社

代表取締役

社長執行役員

池辺和

協定書の覚書に基づく連絡について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条に基づき、別添報告書のとおり連絡いたしますのでご査収ください。

敬具

報告書内容

- |                            |        |
|----------------------------|--------|
| 1. 環境保全測定報告書               | (月報)   |
| 2. 発電実績                    | (月報)   |
| 3. 核燃料物質の消費状況              | (月報)   |
| 4. 放射性廃棄物の管理状況             | (月報)   |
| 5. 環境放射能の測定結果<br>モニタリングポスト | (月報)   |
| 6. 廃止措置の実施状況               | (月報)   |
| 7. 一次冷却材報告書                | (四半期報) |
| 8. 環境放射能の測定結果              |        |
| (1) モニタリングポイント             | (四半期報) |
| (2) 環境試料                   | (四半期報) |
| 9. 発電所職員等に対する教育訓練の実施状況     | (四半期報) |

以上

# 環境保全測定報告書

2023 年 9 月分

九州電力株式会社

## 1. 補助ボイラ用重油のいおう分

重油いおう分 (%)	玄海 1・2号機	玄海 3・4号機
	0.05	0.06

## 2. 排水処理施設出口排水の水質

玄海 1・2号機					玄海 3・4号機				
測定月日	水素イオン濃度*1	化学的酸素要求量 (mg/l) *1	浮遊物質量 (mg/l) *2	油分 (mg/l) *2	測定月日	水素イオン濃度*1	化学的酸素要求量 (mg/l) *1	浮遊物質量 (mg/l) *2	油分 (mg/l) *2
9月6日	7.6	3.4	—	—	9月4日	7.3	1.9	—	—
9月13日	7.5	1.0	—	—	9月12日	7.3	1.2	—	—
9月20日	7.6	0.8	3.8	検出せず	9月19日	7.3	1.2	0.3	検出せず
9月27日	7.6	1.0	—	—	9月27日	7.0	1.4	—	—

\*1 毎週1回以上の測定

\*2 毎月1回以上の測定

## 3. 取放水口の海水温度および放水の残留塩素

	玄海1・2号機			玄海3号機			玄海4号機		
	取水口の温度 (°C)	放水口の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水口の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水口の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)
*1 9月8日	25.4	25.7	検出せず	25.5	32.2	検出せず	25.5	32.0	検出せず
9月20日	26.0	26.6	検出せず	26.4	33.1	検出せず	26.4	32.9	検出せず
*2 9月29日	26.3	26.0	検出せず	25.9	32.6	検出せず	25.9	32.4	検出せず

\*1 10日が休日のため、8日の測定結果を報告。

\*2 30日が休日のため、29日の測定結果を報告。



# 発 電 実 績

2023年9月分

九州電力株式会社

		号機	※1	※2	3号機	4号機	発電所合計
			1号機	2号機			
最大出力	kW	—	—	1,180,000	1,180,000	2,360,000	
発電日数	日	—	—	30	30	30	
発電時間数	時間	—	—	720	720	720	
電 力 量	発電端	10 <sup>3</sup> kWh	—	—	864,728	857,092	1,721,820
	所内消費	10 <sup>3</sup> kWh	1,365	1,380	35,353	34,234	72,332
	送電端	10 <sup>3</sup> kWh	-1,365	-1,380	829,375	822,858	1,649,488
最大電力	kW	—	—	1,206,000	1,194,000	2,400,000	
平均最大電力	kW	—	—	1,203,200	1,192,200	2,395,100	
平均電力	kW	—	—	1,201,011	1,190,406	2,391,417	
負荷率	%	—	—	99.6	99.7	99.6	
利用率	%	—	—	101.8	100.9	101.3	

※1 2015年4月27日運転終了

※2 2019年4月9日運転終了

核燃料物質の消費状況

2023年 9 月分 九州電力株式会社  
(玄海原子力発電所1号炉)

初期濃縮度 (%)	炉内入量		月末在庫量 (炉内ぞう入用)		月末装荷量				炉外取出量				月末在庫量 (私出用)			熱消費量 (10 <sup>9</sup> kJ)	核燃料物質消費量 (kg)			
	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	燃焼度 (10 <sup>3</sup> kWd/t)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	燃焼度 (10 <sup>3</sup> kWd/t)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	ウランの量 (kg)			ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	
3.40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33,075	324	326	( 87)	324	326	0	0	
4.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42,466	384	487	( 113)	384	487	0	0	
4.80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64,681	1,414	595	( 168)	1,414	595	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	140,223	2,122	1,408	( 368)	2,122	1,408	0	0	

(注) 2015年4月27日運転終了  
(注) ( ) 内は燃料集合体数を示す。

核燃料物質の消費状況

2023年

9月分

九州電力株式会社  
(玄海原子力発電所2号炉)

初期濃縮度 (%)	炉内入量		月末在庫量 (炉内蔵入用)			月末残荷量				炉外取出量				月末在庫量 (私出用)			熱消費量 (10 <sup>9</sup> kJ)	核燃料物質消費量 (kg)				
	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	燃焼度 (10 <sup>3</sup> kWh/t)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	燃焼度 (10 <sup>3</sup> kWh/t)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	ウランの量 (kg)			ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)		
3.40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72,769	822	680	0	0	
4.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(177)	754	729	0	0	
4.80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(84)	1,168	159	0	0	
																	(189)					
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(450)	172,910	2,744	1,568	0	0

(注) 2019年4月9日運転終了  
(注) ( )内は燃料集合体数を示す。

核燃料物質の消費状況

2023年

9月分

九州電力株式会社  
(玄海原子力発電所3号炉)

初期濃縮度 (%)	炉内入量			月末在庫量 (炉内蔵入用)			月末出荷量				炉外取出量			月末在庫量 (払出用)			核燃料物質消費量 (kg)	熱消費量 (10 <sup>9</sup> kJ)					
	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	ウランの量 (kg)	燃焼度 (10 <sup>3</sup> kWd/t)	ウランの量 (kg)	燃焼度 (10 <sup>3</sup> kWd/t)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	ウランの量 (kg)	燃焼度 (10 <sup>3</sup> kWd/t)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)			ウランの量 (kg)	燃焼度 (10 <sup>3</sup> kWd/t)			
2.00	0	0	---	0	0	---	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29,209	233	205	0	0	0	
3.50	0	0	---	0	0	---	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,828	59	91	0	0	0	
4.10	0	0	---	41,176	729	---	82,961	1,723	656	24,807	0	0	0	0	0	0	260,733	2,961	2,931	0	8,690	106	
(MOX) *	0	0	0	(94)	0	0	(189)	3	125	36,347	0	0	0	0	0	0	(32)	13,126	20	1,024	0	125	2
4.10	0	0	0	0	0	0	1,644	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	(94)	729	0	(193)	1,725	781	11,285	0	0	0	0	0	0	310,896	3,272	4,251	0	8,815	107	

(注) ( )内は燃料集合体数を示す。  
\* 約4.1wt%濃縮ウラン相当以下

核燃料物質の消費状況

2023年

9月分

九州電力株式会社  
(玄海原子力発電所4号炉)

初期濃縮度 (%)	炉内 そう入量		月末在庫量 (炉内そう入用)		月末差荷量				炉外取出量				月末在庫量 (払出用)			熱消費量 ( $10^3$ kJ)	核燃料物質消費量 (kg)
	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	ウラン の量 (kg)	燃焼度 ( $10^3$ kWd/t)	ウラン の量 (kg)	燃焼度 ( $10^3$ kWd/t)	ウラン 235 の量 (kg)	プルトニウム の量 (kg)	燃焼度 ( $10^3$ kWd/t)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	プルトニウム の量 (kg)			
2.00	0	0	( 1)	453	0	0	0	0	0	0	0	28,765	195	220	0	0	
3.50	0	0	( 122)	0	0	0	0	0	0	0	0	28,186	286	304	0	0	
4.10	0	0	53,166	720	85,095	22,391	656	1,869	0	0	0	339,817	3,611	3,878	8,813	107	
合計	0	0	( 123)	53,618	85,095	8,985	656	1,869	0	0	0	396,768	4,092	4,402	8,813	107	

(注) ( ) 内は燃料集合体数を示す。

放射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2 0 2 3 年 9 月 分

玄海原子力発電所1号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	
		平均値	最大値
N D	N D	N D	N D

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	
		平均値	最大値
放出実績なし	N D	N D	N D

(注) ND:検出限界値未満を示す。

※ 1、2号炉計の値を示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本) (焼却処理等による減少分)	累積貯蔵量(本)
356 (-147)	39,958

(注) 200ℓドラム缶相当本数で示す。

※ 1、2、3、4号炉計の値を示す。

放射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2 0 2 3 年 9 月 分

玄海原子力発電所2号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	
		平 均 値	最 大 値
N D	N D	N D	N D

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	
		平 均 値	最 大 値
—	—	—	—

※ 1、2号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

放射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2 0 2 3 年 9 月 分

玄海原子力発電所3号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	
		平均値	最大値
N D	N D	N D	N D

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	
		平均値	最大値
N D	N D	N D	N D

(注) ND:検出限界値未満を示す。

※ 3、4号炉計の値を示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。



放射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2 0 2 3 年 9 月 分

玄海原子力発電所4号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	
		平均値	最大値
N D	N D	N D	N D

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	
		平均値	最大値
—	—	—	—

※ 3、4号炉計(共用設備)を3号炉分に示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

# 環境放射能測定結果

( 2023 年 9 月分)

2023 年 10 月

九州電力株式会社

空間線量率測定結果(モニタリングステーション)

2023 年 9 月分

九州電力株式会社

測定場所 ステーション

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	26	24	25	16	24	23	24
2	25	24	24	17	32	24	26
3	25	24	25	18	32	23	25
4	25	24	24	19	24	24	24
5	28	24	25	20	24	23	24
6	26	24	25	21	36	23	26
7	26	24	25	22	38	24	28
8	25	24	25	23	24	23	24
9	25	24	24	24	25	24	25
10	25	24	25	25	25	24	25
11	25	24	25	26	25	24	24
12	25	24	25	27	25	24	24
13	26	24	25	28	25	24	24
14	30	24	26	29	25	24	25
15	32	23	27	30	33	24	26
				31	—	—	—

空間線量率測定結果(モニタリングポスト)

2023 年 9 月分

九州電力株式会社

測定場所 PC-1(岸壁)

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	23	22	22	16	22	21	22
2	23	22	22	17	29	22	24
3	23	22	23	18	29	21	22
4	23	21	22	19	22	21	22
5	25	22	22	20	22	21	22
6	24	22	22	21	33	21	24
7	23	22	22	22	34	22	26
8	23	22	22	23	22	21	22
9	22	22	22	24	23	22	22
10	23	22	23	25	23	22	23
11	23	22	23	26	23	22	22
12	23	22	23	27	22	22	22
13	24	22	23	28	23	22	22
14	29	22	24	29	23	22	23
15	29	21	25	30	30	22	23
				31	—	—	—

空間線量率測定結果(モニタリングポスト)

2023 年 9 月分

九州電力株式会社

測定場所 PC-2(ダム南)

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	25	23	24	16	23	22	23
2	24	23	24	17	32	22	26
3	24	23	24	18	32	23	24
4	24	23	23	19	23	23	23
5	27	23	24	20	23	23	23
6	26	23	24	21	35	22	25
7	25	23	24	22	37	23	27
8	24	23	24	23	23	23	23
9	24	23	23	24	24	23	24
10	25	23	24	25	24	23	24
11	25	24	24	26	24	23	24
12	25	23	24	27	24	23	23
13	26	24	24	28	24	23	24
14	31	23	26	29	24	24	24
15	31	22	26	30	33	24	25
				31	—	—	—

玄海1号機 廃止措置の実施状況  
(2023年 9月分)

1 第1段階（解体工事準備期間）の進捗状況（注1）

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度			2024年度	2025年度
(1)系統除染	▼着工（7月13日）										
除染準備作業	[進捗バー]										
装置設置	[進捗バー]										
除染	[進捗バー]										
片付け（装置撤去）	[進捗バー]										
(2)汚染状況の調査	[進捗バー]										
線量当量率測定	[進捗バー]										
試料採取	[進捗バー]										
輸送・分析・評価	輸送・分析 [進捗バー] 評価 [進捗バー]										
(3)汚染のない設備の解体撤去	高圧給水加熱器 [進捗バー] 低圧給水加熱器等 [進捗バー] タービン建屋内機器保護材 [進捗バー] 復水ブースタポンプ等 [進捗バー] スチームコンバータ等 [進捗バー] 復水脱塩装置（中和槽・排水槽排水設備）等 [進捗バー] 主/所内変圧器等 [進捗バー] 脱気器/湿分分離器逃し弁等 [進捗バー]										
(4)使用済燃料搬出	搬出計画検討										
(5)新燃料搬出	輸送容器への収納方法検討・搬出準備										

2 今月の作業実績（注2）

- (1) 系統除染  
終了（2017.7.13～2018.12.11）
- (2) 汚染状況の調査  
終了（2017.8.29～2022.3.18）
- (3) 汚染のない設備の解体撤去

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
2次系設備の解体撤去工事	2017.11.1～2026.3.31（予定）	汚染のない管理区域外の2次系設備の解体撤去を実施する。	今月は作業実績なし

【解体撤去物の状況】（注3）

（単位：トン）

種類	発生量		処分量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
金属類	0	1025.4	0	1025.4	0
コンクリート類	0	47.1	0	47.1	0
その他	0	99.4	0	99.4	0

(4) 燃料搬出 (注4)  
・実績なし

分類	保管場所	項目	燃料体数
玄海1号 使用済燃料	1号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	240
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	240
	4号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	112
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	112
玄海1号 新燃料	1号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	16
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	16
	1号機 新燃料貯蔵庫	貯蔵量 (当初)	64
		搬出量 (前月末まで)	64
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	0

(5) 放射性固体廃棄物 (注5)

種類	発生量		減少量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
使用済樹脂 (m <sup>3</sup> )	0	6.425	0	0	6.425
固体廃棄物 (本)	0	768	0	0	768
均質固化体	0	21	0	0	21
充填固化体	0	0	0	0	0
雑 固 体	0	747	0	0	747

(6) 放射線業務従事者の被ばく線量 (注6)

合計 (人・mSv)	今月		累計 (解体工事準備期間中) [2017.4.19~2023.9.30] (人・mSv)
	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)	
0.01	0.00	0.01	200.49

3 その他  
・なし

## 記載要領について

## (注1) 1 第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況

- (1) 使用済燃料搬出の計画については、六ヶ所再処理工場の竣工状況を踏まえた搬出時期の検討を点線で記載する。
- (2) 新燃料搬出の計画については、新燃料を搬出するための輸送容器への収納方法等の技術的検討を点線で記載する。

## (注2) 2 今月の作業実績

- (1) 「1 第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況」に記載している主な工事の実績を記載する。

## (注3) 2 (3) 汚染のない設備の解体撤去 【解体撤去物の状況】

- (1) 「発生量」は、設備を解体した際に計量した量(トン数)を記載する。
- (2) 「処分量」は、施設外に産業廃棄物又は有価物として搬出した量を記載する。
- (3) 「保管量」は、発生量と処分量の累計の差を記載する。

## (注4) 2 (4) 燃料搬出

- (1) 「貯蔵量(当初)」は、廃止措置計画認可申請書に記載した、2016年9月30日時点の保管場所ごとの燃料体数を記載する。
- (2) 「搬出量(前月末まで)」は、2016年9月30日から前月末までに搬出した燃料体数(累計)を記載する。

## (注5) 2 (5) 放射性固体廃棄物

- (1) 廃止措置計画認可(2017.4.19)以降の1号機における発生量(発電所全体量の内数)を記載する。
- (2) 「使用済樹脂」は、系統除染で使用した樹脂の量(m<sup>3</sup>)を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約5.2 m<sup>3</sup>】
- (3) 使用済樹脂の「発生量」は、使用済樹脂貯蔵タンクに受入れた量(m<sup>3</sup>)を記載する。
- (4) 使用済樹脂の「減少量」は、処理を実施した量(m<sup>3</sup>)を記載する。
- (5) 「固体廃棄物」は、200ℓドラム缶換算の本数を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1,800本】
- (6) 固体廃棄物の「発生量」は、固体廃棄物貯蔵庫に保管した量(本数)を記載する。
- (7) 固体廃棄物の「減少量」は、施設内で処理または施設外に処分した量(本数)を記載する。
- (8) 「保管量」は、発生量と減少量の累計の差を記載する。
- (9) 「雑固体」には、200ℓドラム缶詰めしていないものを含む。

## (注6) 2 (6) 放射線業務従事者の被ばく線量

- (1) 被ばく線量は、警報付ポケット線量計の測定値(単位:mSv、小数点以下3桁目を四捨五入した小数点以下2桁)を集計して記載する。



玄海2号機 廃止措置の実施状況  
(2023年 9月分)

1 第1段階（解体工事準備期間）の進捗状況（注1）

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
(1)汚染状況の調査	[黒塗り]				※		
線量当量率測定	[黒塗り]						
試料採取	[黒塗り]						
輸送・分析・評価		[黒塗り]		輸送・分析 [黒塗り]	※		
(2)汚染のない設備の解体撤去	▼着工（6月29日）						
	[黒塗り]		[黒塗り]		[黒塗り]		
	A,B湿分分離加熱器 等		油計量タンク	タービン建屋内機器保温材	高圧給水加熱器 等	主/所内変圧器 等	
	塵芥搬送装置 等		復水器真空ポンプ	蒸気コンバータ 等	薬品ヤード	補給水処理設備 等	
(3)使用済燃料搬出	搬出計画検討						
(4)新燃料搬出	輸送容器への取納方法 検討・搬出準備						

※ 2026年3月終了予定であったが2023年9月22日に評価終了

2 今月の作業実績（注2）

(1) 汚染状況の調査

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
輸送・分析・評価	2021.7.1～ 2023.9.22	原子炉格納容器内外の放射化によるコンクリート、金属、及び二次的に汚染した配管、機器及び建屋の放射能濃度を確認するために採取した試料の分析及び評価を行う。	○評価 ・2022.3.25～2023.9.22

(2) 汚染のない設備の解体撤去

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
2次系設備の解体撤去工事	2020.6.29～ 2026.3.31（予定）	汚染のない管理区域外の2次系設備の解体撤去を実施する。	高圧給水加熱器等解体撤去工事 ・2023.7.3～実施中 スチームコンバータ等解体撤去工事 ・2023.7.3～実施中

【解体撤去物の状況】（注3）

（単位：トン）

種類	発生量		処分量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
金属類	25.3	403.9	25.3	403.9	0
コンクリート類	0	42.3	0	42.3	0
その他	6.0	108.0	6.0	108.0	0

(3) 燃料搬出（注4）

・実績なし

分類	保管場所	項目	燃料体数
玄海2号 使用済燃料	2号機 使用済燃料ピット	貯蔵量（当初）	254
		搬出量（前月末まで）	0
		搬出量（今月分）	0
		貯蔵量（今月末）	254
	4号機 使用済燃料ピット	貯蔵量（当初）	168
		搬出量（前月末まで）	0
		搬出量（今月分）	0
		貯蔵量（今月末）	168
玄海2号 新燃料	2号機 使用済燃料ピット	貯蔵量（当初）	28
		搬出量（前月末まで）	0
		搬出量（今月分）	0
		貯蔵量（今月末）	28
	2号機 新燃料貯蔵庫	貯蔵量（当初）	84
		搬出量（前月末まで）	84
		搬出量（今月分）	0
		貯蔵量（今月末）	0

(4) 放射性固体廃棄物（注5）

種類	発生量		減少量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
使用済樹脂（m <sup>3</sup> ）	0	0	0	0	0
固体廃棄物（本）	0	338	0	16	322
均質固化体	0	19	0	0	19
充填固化体	0	0	0	0	0
雑固体	0	319	0	16	303

(5) 放射線業務従事者の被ばく線量（注6）

合計 （人・mSv）	今月		最大線量 （mSv）	累計 （解体工事準備期間中） [2020.4.1～2023.9.30] （人・mSv）
	平均線量 （mSv）			
0.01	0.00		0.01	11.02

3 その他  
・なし

## 記載要領について

## (注1) 1 第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況

- (1) 使用済燃料搬出の計画については、六ヶ所再処理工場の竣工状況を踏まえた搬出時期の検討を点線で記載する。
- (2) 新燃料搬出の計画については、新燃料を搬出するための輸送容器への収納方法等の技術的検討を点線で記載する。

## (注2) 2 今月の作業実績

- (1) 「1 第1段階の進捗状況」に記載している主な工事の実績を記載する。

## (注3) 2 (2) 汚染のない設備の解体撤去 【解体撤去物の状況】

- (1) 「発生量」は、設備を解体した際に計量した量(トン数)を記載する。
- (2) 「処分量」は、施設外に産業廃棄物又は有価物として搬出した量を記載する。
- (3) 「保管量」は、発生量と処分量の累計の差を記載する。

## (注4) 2 (3) 燃料搬出

- (1) 「貯蔵量(当初)」は、廃止措置計画認可申請書に記載した、2019年3月31日時点の保管場所ごとの燃料体数を記載する。
- (2) 「搬出量(前月末まで)」は、2019年3月31日から前月末までに搬出した燃料体数(累計)を記載する。

## (注5) 2 (4) 放射性固体廃棄物

- (1) 廃止措置計画認可(2020.3.18)以降の2号機における発生量(発電所全体量の内数)を記載する。
- (2) 「使用済樹脂」は、除染で使用した樹脂の量(m<sup>3</sup>)を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1 m<sup>3</sup>】
- (3) 使用済樹脂の「発生量」は、使用済樹脂貯蔵タンクに受入れた量(m<sup>3</sup>)を記載する。
- (4) 使用済樹脂の「減少量」は、処理を実施した量(m<sup>3</sup>)を記載する。
- (5) 「固体廃棄物」は、200ℓドラム缶換算の本数を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1,700本】
- (6) 固体廃棄物の「発生量」は、固体廃棄物貯蔵庫に保管した量(本数)を記載する。
- (7) 固体廃棄物の「減少量」は、施設内で処理または施設外に処分した量(本数)を記載する。
- (8) 「保管量」は、発生量と減少量の累計の差を記載する。
- (9) 「雑固体」には、200ℓドラム缶詰めしていないものを含む。

## (注6) 2 (5) 放射線業務従事者の被ばく線量

- (1) 被ばく線量は、警報付ポケット線量計の測定値(単位:mSv、小数点以下3桁目を四捨五入した小数点以下2桁)を集計して記載する。

# 一 次 冷 却 材 報 告 書

2023 年度 第 2 四半期分

玄海原子力発電所 3号炉

九州電力株式会社

		原 子 炉 本 体 入 口			原 子 炉 本 体 出 口		
		温 度 ℃	压 力 MPa	流 量 T/h	温 度 ℃	压 力 MPa	流 量 T/h
7 月	最 高	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
	最 低	289.1	15.69	60,100	319.5	15.41	60,100
	平 均	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
8 月	最 高	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
	最 低	289.1	15.69	60,100	319.5	15.41	60,100
	平 均	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
9 月	最 高	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
	最 低	289.1	15.69	60,100	319.6	15.41	60,100
	平 均	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100

# 一 次 冷 却 材 報 告 書

2023 年度 第 2 四半期分

玄海原子力発電所 4号炉

九州電力株式会社

		原 子 炉 本 体 入 口			原 子 炉 本 体 出 口		
		温 度 ℃	压 力 MPa	流 量 T/h	温 度 ℃	压 力 MPa	流 量 T/h
7 月	最 高	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
	最 低	289.1	15.69	60,100	319.9	15.41	60,100
	平 均	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
8 月	最 高	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
	最 低	289.2	15.69	60,100	320.0	15.41	60,100
	平 均	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
9 月	最 高	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
	最 低	289.1	15.69	60,100	319.9	15.41	60,100
	平 均	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100

# 環境放射能測定結果

( 2023 年度第 2 四半期分)

2023 年 10 月

九州電力株式会社

第2023-2回

積算線量測定結果 (モニタリング・ポイント)

1 測定条件

(1) 測定素子      ガラス線量計 (AGCテクノグラス SC-1)

(2) 測定期間

2023年 7月 5日 ~ 2023年10月 4日 (A)

2023年 7月 6日 ~ 2023年10月 5日 (B)

A      :    91日間    (2184時間)

B      :    91日間    (2184時間)

(3) 事前アニール      実施年月日      2023年 7月 4日

実施場所      環境放射能測定室

(4) 読取条件      読取日時      2023年10月 4日17時55分~

2023年10月 5日17時28分

読取場所      環境放射能測定室

リ    ー    ダ      旭テクノグラス FGD-202

(5) 備      考

な      し

2. 測定結果

ポイントNo. (場所)	積算線量 (mGy)		線量率換算値		備考
	測定値	91日間換算値	nGy/h	mGy/y	
P-1 (岸壁側)	0.12	0.12	53	0.46	B
P-2 (展示館)	0.14	0.14	64	0.56	B
P-3 (ステーション)	0.12	0.12	56	0.49	B
P-4 (ダム北)	0.12	0.12	53	0.46	B
P-5 (ダム南)	0.12	0.12	53	0.47	B
P-11 (九電今村寮)	0.14	0.14	62	0.54	B
P-12 (外津)	0.13	0.13	59	0.52	B
P-13 (中通)	0.14	0.14	64	0.56	B
P-14 (旧値賀第1コミュニ ニティセンター)	0.12	0.12	55	0.48	B
P-15 (池崎)	0.13	0.13	59	0.51	B
P-16 (串崎)	0.12	0.12	55	0.48	B
P-17 (仮立)	0.13	0.13	58	0.51	B
P-31 (串浦)	0.13	0.13	59	0.52	B
P-32 (値賀川内)	0.13	0.13	59	0.52	B
P-33 (浜野浦)	0.12	0.12	53	0.47	B
P-34 (米納戸)	0.12	0.12	57	0.50	B
P-51 (名護屋)	0.11	0.11	50	0.44	B
P-52 (小加倉)	0.12	0.12	55	0.48	B
P-53 (仮屋公民館)	0.15	0.15	67	0.59	B
P-54 (有浦コミュニ ティセンター)	0.12	0.12	57	0.50	B
P-72 (石原)	0.13	0.13	59	0.51	B
P-73 (加部島B)	0.11	0.11	51	0.45	A
P-91 (加唐島B)	0.13	0.13	60	0.53	A
P-92 (馬渡島B)	0.13	0.13	57	0.50	A



第2023-2回

環境試料の放射能測定結果

1 測定条件

(1) 核種分析

- a 測定器 Ge (Int) 多重波高分析装置  
(セイコー・イージーアンドジー MCA-7a)  
低バックグラウンド放射能自動測定装置  
(日立製作所 LBC-4602)  
低バックグラウンド液体シンチレーション計数装置  
(日立製作所 LSC-LB8)
- b 測定期日 2023年 7月 1日 ~ 2023年 9月30日
- c 測定方法 放射能測定法シリーズ (文部科学省)  
「放射性ストロンチウム分析法」 (平成15年4訂)  
「放射性ヨウ素分析法」 (平成8年2訂)  
「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」  
(平成4年3訂)  
「環境試料採取法」 (昭和58年)  
「ゲルマニウム半導体検出器等を用いる機器分析のための試料の  
前処理法」 (昭和57年)  
「トリチウム分析法」 (平成14年2訂)  
に準じた。

2. 測定結果

分類	試料名	採取年月日	単位	核種別放射能強度							備考
				<sup>90</sup> Sr	<sup>131</sup> I	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>60</sup> Co	<sup>3</sup> H		
海産生物	たい (八田浦周辺)	-	Bq / kg 生	-	-	-	-	-	-	-	-
	いか ( " )	2023.7.20	"	-	-	ND	ND	ND	ND	-	-
	さざえ ( " )	-	"	-	-	-	-	-	-	-	-
	なまこ ( " )	-	"	-	-	-	-	-	-	-	-
	わかめ ( " )	-	"	-	-	-	-	-	-	-	-
	ほんだわら類 ( " )	-	"	-	-	-	-	-	-	-	-
海底土	1・2号放水口付近	2023.7.18	Bq / kg 乾	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	-
	1・2号取水口付近	2023.7.6	"	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	-
	3・4号放水口付近	2023.7.18	"	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	-
	3・4号取水口付近	2023.7.6	"	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	-
海水	1・2号放水口付近	2023.7.18	mBq / l	-	ND	ND	1.7	1.7	ND	ND	-
	1・2号取水口付近	2023.7.6	"	-	ND	ND	1.9	1.9	ND	ND	-
	3・4号放水口付近	2023.7.18	"	-	ND	ND	1.7	1.7	ND	ND	-
	3・4号取水口付近	2023.7.6	"	-	ND	ND	1.9	1.9	ND	ND	-
陸水	ダム水	2023.7.25	"	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	志礼川(値賀浄水場)	2023.7.24	"	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
土壌	岸壁側	-	Bq / kg 乾	-	-	-	-	-	-	-	-
	正門南	-	"	-	-	-	-	-	-	-	-
	九電今村寮	-	"	-	-	-	-	-	-	-	-
	ダム底土	-	"	-	-	-	-	-	-	-	-
	米 (普恩寺)	-	Bq / kg 生	-	-	-	-	-	-	-	-
	米 (下宮)	-	"	-	-	-	-	-	-	-	-
植物	かんしよ (普恩寺)	-	"	-	-	-	-	-	-	-	-
	かんしよ (今村)	-	"	-	-	-	-	-	-	-	-
	松葉 (敷地内)	2023.8.21	"	-	ND	ND	0.050	ND	ND	ND	-
	ほうれん草 (今村)	-	"	-	-	-	-	-	-	-	-
畜産物	牛乳 (浜野浦)	2023.8.24	Bq / l	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-
	正門南	2023.6.30 ~ 2023.9.29	mBq / m <sup>3</sup>	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	-

(注) ND --- 検出限界未満を示す。

# 発電所職員等に対する教育訓練の実施状況

(2023年度 第2四半期分)

## I. 玄海原子力発電所九電社員

(1/4)

区分	場所	項目	内 容	対 象 者	実 績		備 考	
					実施時期	人 数		
職 場 外 教 育 所	原子力発電訓練センター	初期訓練	原子力関係基礎理論教育（講義） 各設備機器の構造機能教育（講義） 運転操作訓練（講義及びシミュレータ訓練）	プラント管理課員 発電第二課員	2023/7~9	2	前期より継続及び 来期へ継続	
		再訓練	一般 コース		運転操作訓練 （講義及びシミュレータ訓練）	2023/7	3	
			上 級 コース		運転操作訓練 （講義及びシミュレータ訓練）	—	—	
			監 督 者 コース		監督者の指揮命令、判断能力の訓練 （講義及びシミュレータ訓練）	2023/7, 8	4	
			実技試験 コース		運転操作訓練 監督者の指揮命令、判断能力の訓練・試験 （講義及びシミュレータ訓練）	—	—	
	メーカー	保修技能 研修	一・二次系、制御、電気設備に関する知識・保修技術の 習得	設備管理課員 保修第二課員	2023/7~9	33		
		品質管理 研修	非破壊検査に関する知識・検査技術の習得		2023/8	8		
	日本原子力 研究開発機構	原子力 基礎研修	原子炉研修一般課程、基礎課程、放射線防護基礎コース 等のコースによる原子力に関する知識・技術の習得	技術系要員	—	—		
	発電所	保安規定 教育	原子炉施設保安規定の理解と遵守事項の周知	全 所 員 (所長は除く)	—	—		
		放射線 防護教育	放射線防護に関する知識の習得、遵守事項の周知	放射線業務従事者	—	—		
		防災教育	防災組織等に関する知識の習得、防災意識の高揚	全 所 員 (所長は除く)	—	—		
		安全協定 教 育	安全協定の内容に関する周知 社会の動向、安全協定等	全 所 員	2023/8, 9	562		
消防訓練 (防火・ 防災対応)		火災発生時、災害等発生時に自衛消防組織による迅速な 消火活動及び避難等が十分機能することの確認	全 所 員 (当直は除く)	—	—			

区分	場所	項目	内 容	対 象 者	実 績		備 考
					実施時期	人 数	
職 場 外 教 育 所	避 難、 救助訓練	原子力防災 訓 練	傷病者発生時の救急活動及び原子力災害時の避難活動が的確かつ迅速に処置できることの確認	全 所 員 (当直は除く)	—	—	
			非常事態発生時に発電所として対処すべき必要事項の処置並びに防災体制、組織が総合的に機能することの確認		—	—	
		火災防護、 内部溢水、 火山影響等、 その 他 自然災害 対 応 教 育	火災、内部溢水、火山影響等及びその他自然災害(地震、津波及び竜巻等)発生時の措置に関する教育	全 所 員 (所長は除く)	—	—	
	発 電	有毒ガス 発生時の 対 応 教 育	有毒ガス発生時の措置に関する教育	全 所 員 (所長は除く)	—	—	
		通報連絡 訓 練	異常発生時等に社内外の関係先への確かつ迅速に通報連絡できることの確認	関 係 者	2023/9	11	
		危 険 物 保 安 教 育	危険物の取扱い及び防火管理に関する意識の高揚		2023/7	4	
	電 氣	アキシデント マネジメント 教 育	重大事故等及び大規模損壊発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する教育	全 所 員 (所長は除く)	2023/7,9	229	
		要員養成 教 育	原子力訓練センターにおける訓練	設備管理課員 保修第二課員 発電第二課員	2023/7~9	206	
			安全作業及び品質管理教育	関 係 者	—	—	
	導 入 教 育	新入社員教育 ( 発電所の概要及び従事者として必要な安全協 定等の机上教育並びに実務教育 )	新入社員教育	新入社員全員	2023/7~9	18	前期より継続及び 来期へ継続
			転入社員教育 ( 発電所の従事者として必要な保安規定、安全 協定並びに品質保証等の机上教育 )	転入社員全員	2023/7,8	47	
			放射線業務従事者指定時等の放射線管理教育	放射線業務従事者 に指定する者	2023/7,8	18	
職 場 内 教 育	要員養成 教 育	技術系各課の業務遂行に必要な実務教育	技術系各課配属者	2023/7~9	配属者 全員	前期より継続及び 来期へ継続	
		緊急処置訓練 (模擬操作訓練及び処置の検討)	プラント管理課 発電第二課 当直員全員	プラント管理課 (1回/2ヵ月) 発電第二課 (1回/月)	プラント管理課 及び 発電第二課 当直員全員		

区分	場所	項目	内 容	対 象 者	実 績		備 考
					実施時期	人 数	
職 場 外 教 育	電 力 所	成立性確認 訓練	重大事故等対応に係る成立性を確認するための訓練	運転員、運転対応要員、 保守対応要員、緊急時対策本部要員（指揮者等）、 特重施設要員	2023/7～9	984	
		重大事故等 発生時の対応に係る総合的な訓練	重大事故等発生時のプラント状況の把握、的確な 対応操作等の総合的な訓練	運転員、重大事故等 対策要員、緊急時対策本部要員、 特重施設要員	—	—	
		大規模損壊 発生時の対応に係る総合的な訓練	大規模損壊発生時のプラント状況の把握、情報収 集、的確な対応操作の選択及び緊急時対策本部要 員指揮者等、特重施設要員及び専属自衛消防隊と の連携を含めた総合的な訓練	任意の緊急時対策 本部要員（指揮者 等）、特重施設要 員、専属自衛消防 隊	2023/9	15	
		アクシデ ントマネジ メント訓練	大規模損壊発生時に通常の指揮命令系統が機能し ない場合等の事態を想定した教育訓練	所長、原子炉主任技 術者、緊急時対策本 部要員（指揮者等）、 発電第二課長、保守 第二課長 他	2023/7	8	
		力量維持 訓練	重大事故等及び大規模損壊発生時に、適切に対応 できるように力量を維持するための訓練	保守対応要員、緊 急時対策本部要員 （指揮者等を除く）	2023/7～9	379	
		緊急処置 訓練 （特重施設）	原子炉格納施設等への故意による大型航空機の衝 突等による大規模損壊発生時における各種緊急事 象の発生に対する模擬操作訓練及び処置の検討	特重施設要員	2023/7～9	328	
		特重施設の 操作に係る 成立性確認 訓練	原子炉格納施設等への故意による大型航空機の衝 突等による大規模損壊発生時における特重施設に よる対応操作を確認する訓練	特重施設要員	—	—	
		特定核燃料 物質防護 対策教育	核物質防護設備の運用及び異常時の措置に関する 知識の習得、核物質防護に対する意識の高揚	全 所 員	2023/9	293	来期へ継続
職場内 教育	特定核燃料 物質防護 対策訓練	発電所防護上の緊急時に社内外への迅速な通報連 絡及び対応等の所要の措置を講ずることができる ことの確認	関 係 者	—	—		

II. 協力会社玄海事業所従業員

(4/4)

区分	場所	項目	内 容	対 象 者	実 績		備 考
					実施時期	人 数	
協力会社への教育	発電所	安全衛生協議会	安全衛生管理の推進を図るため、災害防止等の安全確保意識の啓蒙と相互間の連絡、調整	(玄海原子力発電所の管理職) 安全衛生協議会加盟会社の責任者	2023/7~9	55~57	
		避難・救助訓練	救急処置の訓練を九電の訓練に併せて実施	協力会社玄海事業所の放射線管理責任者及び作業責任者	—	—	
		消防訓練(防火・防災対応)	消火活動、防災活動の訓練を九電の訓練に併せて実施	協力会社玄海事業所の従業員	—	—	

別 添 4

立コミ本第257号

2023年11月2日

佐 賀 県 知 事  
山 口 祥 義 様

九州電力株式会社  
代表取締役 池 辺 和  
社長執行役員

玄海原子力発電所3号機 第17回定期検査の実施について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

かねてから当社事業につきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社玄海原子力発電所3号機は、別紙のとおり第17回定期検査を実施いたしますので、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条第5号に基づきご連絡申し上げます。

今後とも、一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

## 玄海原子力発電所3号機 第17回定期検査計画の概要

### 1. 計画工程

- (1) 2023年11月10日 発電停止
- (2) 2024年 1月31日 臨 界
- (3) 2024年 2月 2日 発電再開
- (4) 2024年 2月29日 通常運転復帰

### 2. 主要検査及び点検計画

以下の設備について、付表-1「玄海原子力発電所3号機第17回定期検査(定期事業者検査)計画の概要」に示す定期事業者検査を実施する。

- (1) 原子炉設備
- (2) タービン設備
- (3) 電気設備
- (4) 制御設備
- (5) 放射性廃棄物貯蔵、処理設備

### 3. 定期事業者検査項目

付表-2「玄海原子力発電所3号機第17回定期事業者検査項目」に示す定期事業者検査を実施する。

### 4. 定期事業者検査体制

付表-3「玄海原子力発電所3号機第17回定期事業者検査体制」に示す体制で定期事業者検査を実施する。



## 5. 定期検査中の線量管理計画

第17回定期検査実施にあたり過去の定期検査の実績を踏まえ、作業環境の整理等により、外部被ばく線量を極力低減するよう努力するとともに、内部被ばくを生じないよう管理を行う。

- (1) 予想総線量：約0.57人・Sv
- (2) 実効線量限度（法令）：100mSv/5年  
(ただし、50mSv/年を超えてはならない)
- (3) 作業件名毎に、作業内容、作業環境、作業方法、過去の作業実績等を考慮して計画線量を設定し、線量管理を行う。
- (4) 呼吸保護具の着用等により、内部被ばく管理の徹底を行う。

## 6. 定期検査期間中に実施する主な工事

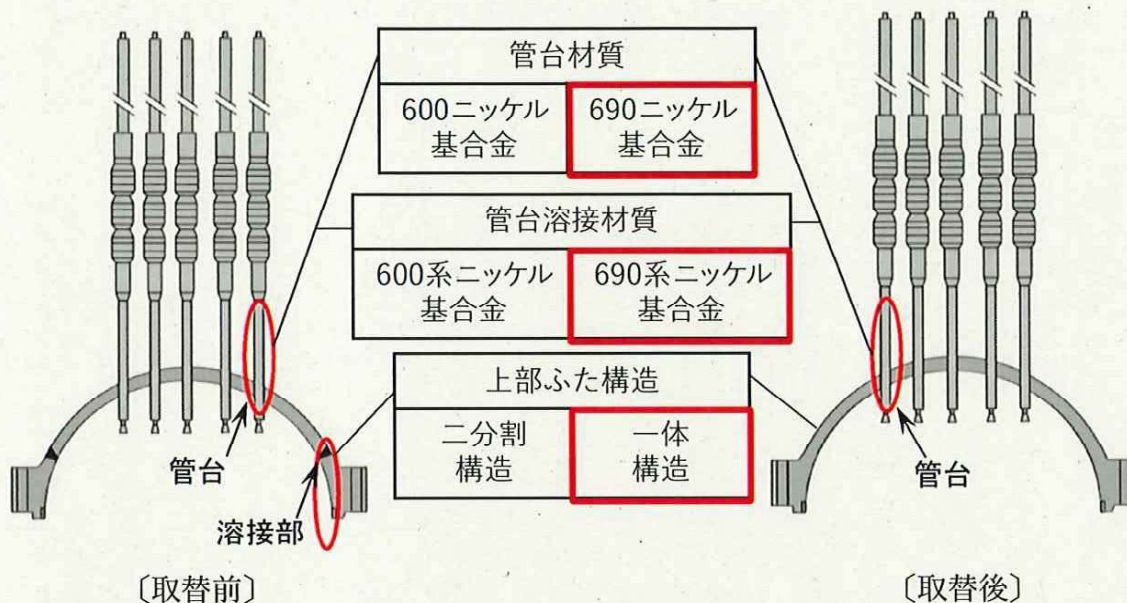
- (1) 燃料の取替え  
燃料集合体193体のうち、一部を新燃料に取り替える。
- (2) 原子炉容器上部ふた取替工事（概要①）  
更なる信頼性向上として、原子炉容器上部ふたの管台材料を600ニッケル基合金から耐応力腐食割れに優れた690ニッケル基合金へ変更するとともに、ふた構造を二分割構造から一体構造へ変更するなど最新設計の原子炉容器上部ふたへの取替えを実施する。
- (3) 抽出オリフィス廻り弁・配管取替工事（概要②）  
抽出オリフィス廻りに使用している差込み溶接継手は、突き合わせ溶接継手と比較すると応力集中を受けやすい形状であるため、信頼性向上のため、突き合わせ溶接継手へ変更する。

以 上

## 主な工事の概要

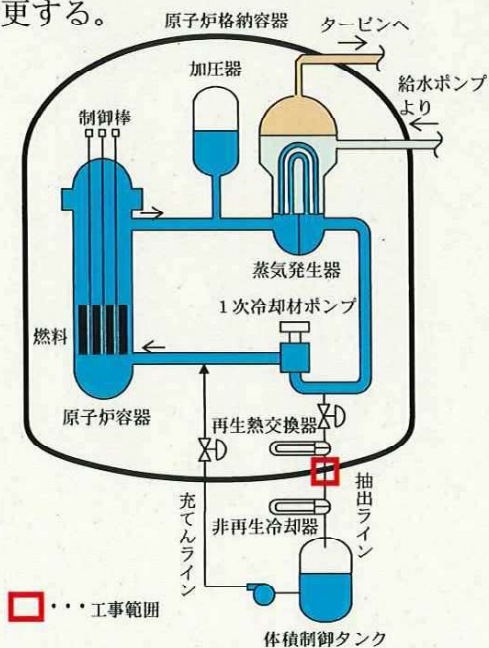
### ① 原子炉容器上部ふた取替工事

更なる信頼性向上として、原子炉容器上部ふたの管台材料を600ニッケル基合金から耐応力腐食割れに優れた690ニッケル基合金へ変更するとともに、ふた構造を二分割構造から一体構造へ変更するなど最新設計の原子炉容器上部ふたへの取替えを実施する。



### ② 抽出オリフィス廻り弁・配管取替工事

抽出オリフィス廻りに使用している差込み溶接継手は、突き合わせ溶接継手と比較すると応力集中を受けやすい形状であるため、信頼性向上のため、突き合わせ溶接継手へ変更する。



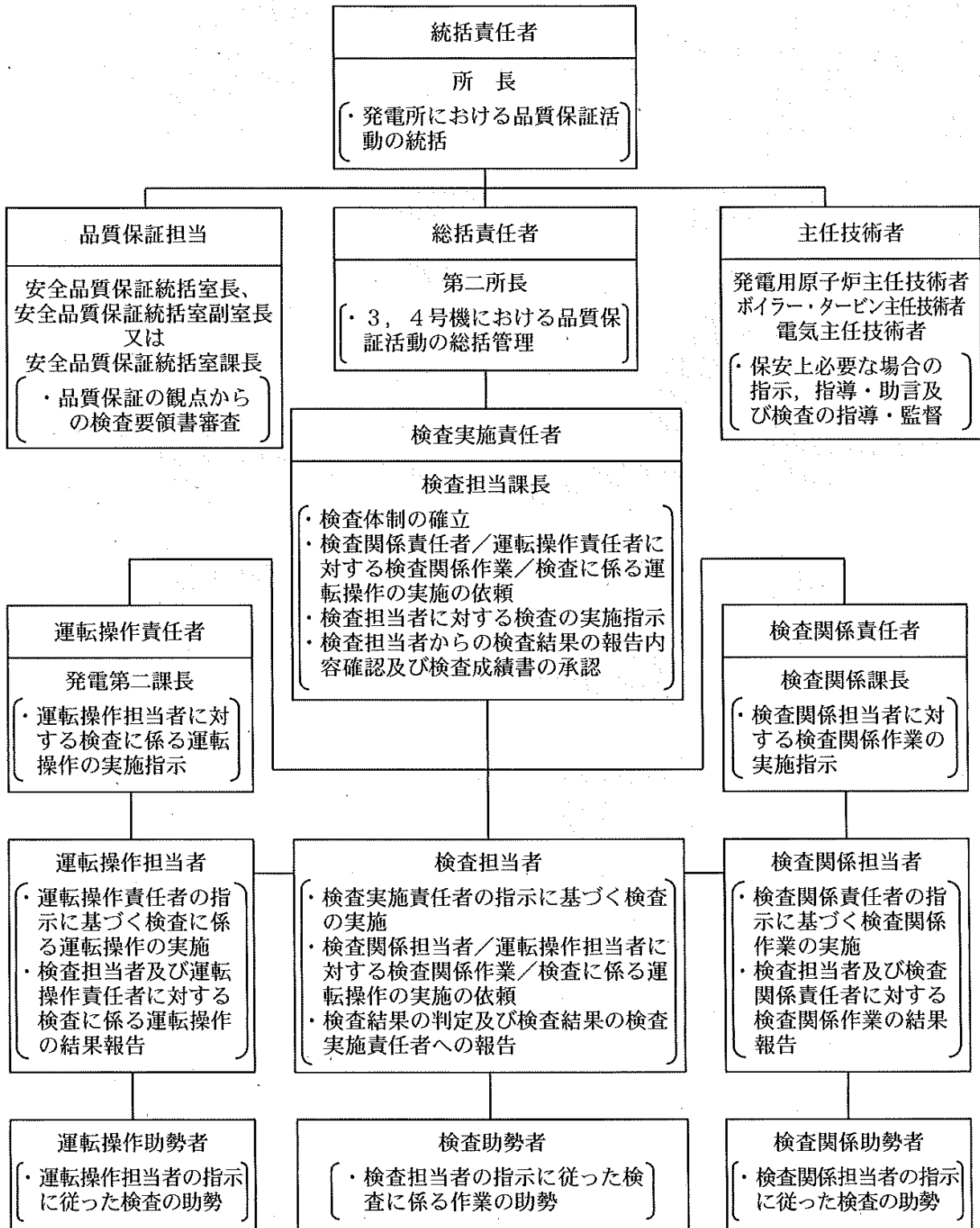
- 抽出ライン：1次冷却材の水質や体積を制御するために、1次冷却材を一部抽出するための系統
- オリフィス：抽出ラインの流量を調整するための設備
- 差込み溶接：片方の溶接端をソケット状にし、もう片方の配管を差込み溶接する方法
- 突き合わせ溶接：両方の溶接端をつき合わせ、この部分を溶接して接続する方法

玄海原子力発電所3号機 第17回定期検査(定期事業者検査)計画の概要

項 目	業 作 内 容
原子炉本体	上部蓋及び上部炉心構造物を取外し、目視検査等により溶接部、スタッドボルト等の点検を実施する。また、原子炉容器上部ふたの管台材料を耐応力腐食割れに優れた690ニッケル合金に変更するとともに、ふた構造を二分割構造から一体構造へ変更するなど最新設計の原子炉容器上部ふたへの取替えを実施する。
原子炉設備	蒸気発生器 伝熱管(細管)についてロボット式渦流探傷装置を使用して検査を実施する。 燃 料 原子炉内の燃料全数を使用済燃料ピットに移送し、水中テレビ等により燃料の健全性を確認するとともに、燃料の取替えを実施する。 付属機器 加圧器安全弁、加圧器逃がし弁及び原子炉格納容器隔離弁の検査等を実施する。ポンプ、換気設備、熱交換器、配管及び弁類等付属機器の分解点検を実施するとともに格納容器の漏えい率検査を実施する。
タービン設備	本 体 タービンの開放点検を実施する。 付属機器 主蒸気安全弁、主蒸気逃がし弁検査、その他主要弁開閉検査、機器配管弁類等の機能検査を実施する。
電気設備	発電機 発電機本体及び励磁機の点検を行うとともに非常用予備発電装置機能検査を実施する。 付属機器 変圧器、しゃ断器等の点検を実施する。
制御設備	原子炉系 安全保護系、放射線監視装置、制御棒駆動系及び制御用空気圧縮系等の機能検査を実施する。その他炉内計装装置及び一次系制御装置等の検査を実施する。
放射性廃棄物貯蔵、 処理設備	廃棄物処理系 液体廃棄物処理系の機能検査等を実施する。
プラント総合	定格熱出力一定運転時におけるプラントの運転状況を確認するために、総合負荷性能検査を実施する。



玄海原子力発電所3号機 第17回定期事業者検査体制



(注) 個々の検査体制については、定期事業者検査実施要領書に定める。  
 主な役務内容を括弧内に示す。

